

特別展「大解剖！からくりワールド」 県立博物館でオープン

科学技術の楽しさ知って

「ほっとやまはく」
タイム⑦



ます。今回は特別展の概要を紹介しましたので、今回は隠れた見どころを取り上げます。
コロコロ積み木D-I-Y

県立山口博物館では7月26日（金）から特別展「大解剖！からくりワールド」を開催しています。今展では、技術が進歩しても変わらない歯車やリンクなどの機械の仕組みについて、子どもの大好きなからくり人形やロボットなどを実際に体験してもらうことにより、科学技術の楽しさや面白さについて知ってもらう機会としてい

Y
初めに紹介したい見どころは、第3章「体験！オートマタ」コーナーのコロコロ積み木D-I-Yです。ここでは、オリジナルのボールコースターを作ることがができます。ボールが転がる溝が刻まれた木製のレールやトンネルなどがクリアケースの中に用意されており、それらの部品を自由に組み合わせることがができます。毎日、たくさん子どもたちがオリジナルのボールコースターを作って楽しんでます。中には、

大人があつと驚くような作品が出来上がっていることもあります。高く積み上げすぎたり、コーナーの外まで部品を並べたりすると、ボールコースターが崩れ、通路をふさいでしまうので、他の来場者の迷惑にならないようにコースを作ってください。

はてなとくん

はてなマーク「？」が付いた八つのブロックが並んでいます。それぞれの箱にはハンドルがあり、それを回すと、それぞれのはてなマークが違った動きをします。ボックスのふたを開けると、仕組みを確認できるようにになっています。ここでは、からくりの仕組みについて、保護者が子どもに解説しながらハンドルを回している姿をよく見掛けます。向かい側に設

置してある「大解剖なとくん」と合わせてご覧いただくと、私たちの身の回りの機械が、たくさん仕掛けに支えられていることに気付き、驚かされます。

葉脈標本3Dホログラム

特別展のタイトルにある「からくり」には「もののしくみ」という意味も込めています。そこでちょっと変わった「もののしくみ」として、植物の葉の仕組みを紹介しています。3Dホログラムで葉脈が空中に浮かんで見えるように工夫しています。正面のタブレットがタッチパネルになっており、タブレット画面を縦や横になぞることで、3Dホログラムを拡大・回転させて観察できます。ぜひ、触ってみてください。

終わりに

その他にも、日替わりの「すごい技！体験」メニューや週替わりの工作コーナーを用意しており、何度来ても新しい発見がある特別展になっています。25日（日）まで開催しています。夏休みは「大解剖！からくりワールド」で「ものづくり」の楽しさをご家族、友人と一緒にぜひ体験してください。

漁剛志（学芸課長・理工部門担当）
▽次回は21日です。



葉脈を3Dで観察



楽しいコロコロ積み木D-I-Y

身の回りの仕掛けが分かるなとくんコーナー

山口県立山口博物館
TEL 083-922-0294
月曜休館（祝日の場合は翌日）。最新情報はホームページで。

